

| 会 | 社 | 案 | 内 |



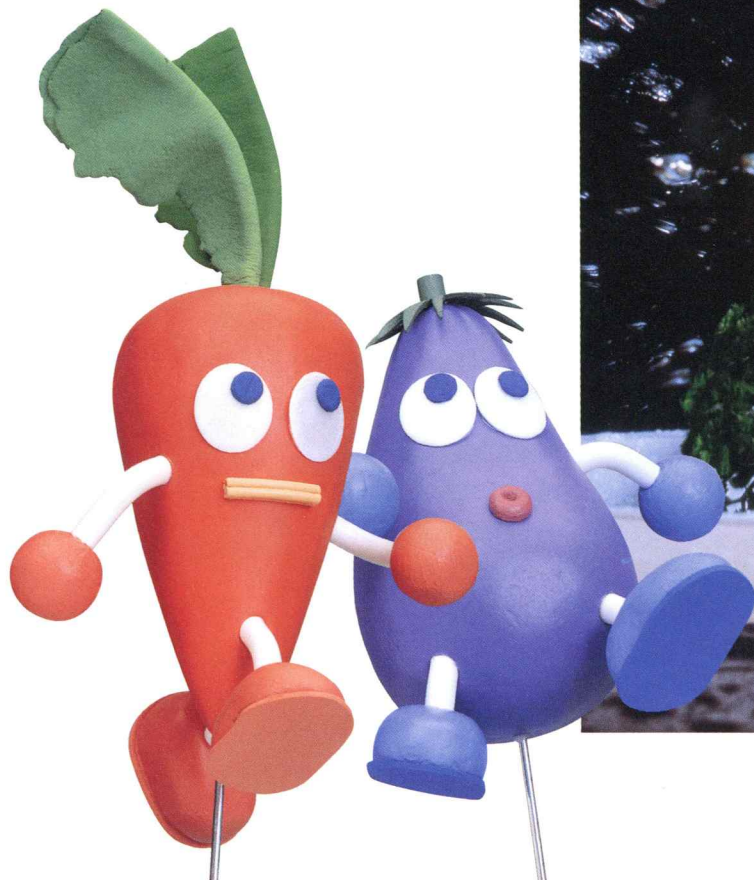
生活情報をすばやくお届けする

eSEC 株式会社 **中國新聞サービスセンター**

<http://www.orikomi.org/>

暮らしを彩るエリアコミュニケーション

毎朝、新聞とともにご家庭に配達されるオリコミ広告。いまでは、なくてはならない情報源の一つとなっています。1994年にはテレビ、新聞に次ぐ「第3の媒体」の座についたオリコミ広告。その後の長らく不況の中にあつて、最も身近で親しめる広告媒体として成長してきました。その要因の第一は、なによりも即効性があることです。その結果、活用業種も不動産、スーパー、小売店を筆頭に、車・カー用品、スポーツ・レジャー、家庭用雑貨、通信販売、金融、貴金属・装飾品など多種多様にわたり、幅広い分野での広告展開に貢献してきました。最近の、インターネット、CATV（有線テレビ）、無料宅配情報誌のような広告媒体の参入にも動じない「利便性」「経済性」「即効性」を柱とするオリコミ広告。中国新聞サービスセンターでは、これまで以上に役立つ新鮮な生活情報をお茶の間にお届けしてまいります。



Profile

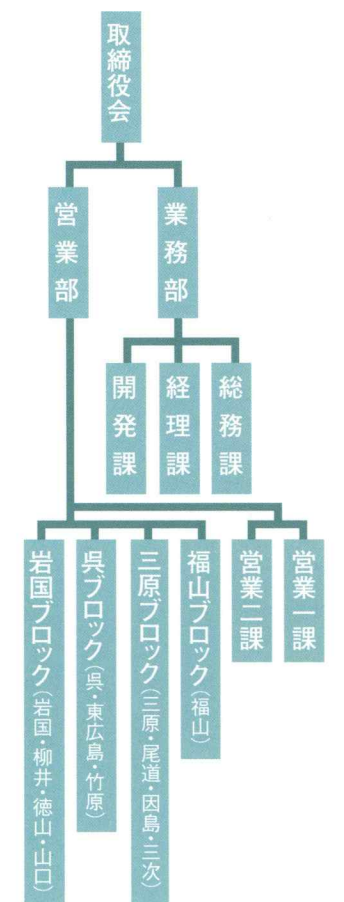
概況

会社名 株式会社中国新聞サービスセンター
所在地 広島市中区宝町5番28号
設立 昭和37年4月1日
資本金 2,000万円
決算期 年1回 3月
年商 172億2,906万円(平成9年3月実績)
従業員数 76名(男55名、女21名)

沿革

- 昭和37年 4月 有限会社中国新聞折込広告社として発足
- 昭和38年 5月 社名を有限会社中国新聞サービスセンターに改称
- 昭和43年 4月 福山・呉の両市に営業所を設置。本社を広島市南竹屋町へ移転
- 昭和44年 11月 共栄火災海上保険相互会社と代理店契約を結び、損保の業務に着手
- 〃 12月 株式会社中国新聞サービスセンターに改組
- 昭和45年 7月 三原市に営業所を開設
- 昭和53年 4月 東広島市、三次市と山口県岩国市へそれぞれ営業所を開設
- 〃 7月 広島市宝町の現在地に新社屋を完成し、本社を移転
- 昭和54年 2月 竹原市に出張所(56年から営業所)を開設
- 〃 4月 尾道市に営業所を開設
- 昭和57年 6月 因島市に営業所(60年から出張所)を開設
- 〃 7月 山口県柳井市に営業所を開設
- 昭和58年 3月 売上高50億円達成
- 昭和60年 11月 山口県徳山市に営業所開設、10営業所・1出張所体制となる
- 昭和62年 4月 創立25周年を迎え、25年史「躍進の25年」刊行
- 〃 同月 営業部にデリバリーサービス課を新設、ポスティング(宅配)業務に参入
- 平成2年 3月 売上高100億円達成
- 〃 8月 資本金2,000万円に増資
- 〃 10月 福山営業所を同市東深津町へ新築移転
- 平成3年 12月 三原営業所を同市宮浦に新築移転
- 平成4年 4月 創立30周年「躍進の30年」刊行
- 平成5年 7月 三次営業所を新築三次支局ビル内に移転
- 〃 9月 尾道営業所を高須町へ移転
- 〃 10月 竹原営業所を下野町へ移転
- 〃 12月 呉営業所を和庄から広大新開へ移転
- 平成6年 3月 売上高150億円達成
- 平成7年 4月 徳山営業所を同市徳山に新築移転
- 平成8年 6月 山口県山口市に営業所を新設
- 平成9年 3月 山口営業所を同市本町に新築移転
- 〃 同月 本社1・2階事務所改修工事(第1期～第3期分)完工
- 〃 同月 年間取扱枚数50億枚を突破
- 〃 同月 総務部を業務部に、営業部保険課を業務部開発課に組織変更
- 〃 11月 営業部デリバリーサービス課を廃止し、営業部を営業一課、営業二課の二課制に改組

組織図



ケーション

オリコミ広告システム

消費者
一般家庭

新聞販売所
折込作業
コース別仕分け
各家庭へ配送

販売計画
市場調査
広告予算
プロモーション計画

企画制作

印刷

配送業務
数量チェック
折込日チェック
入出庫管理

オリコミ
広告計画
市場分析
適正商圏設定
エリア分析

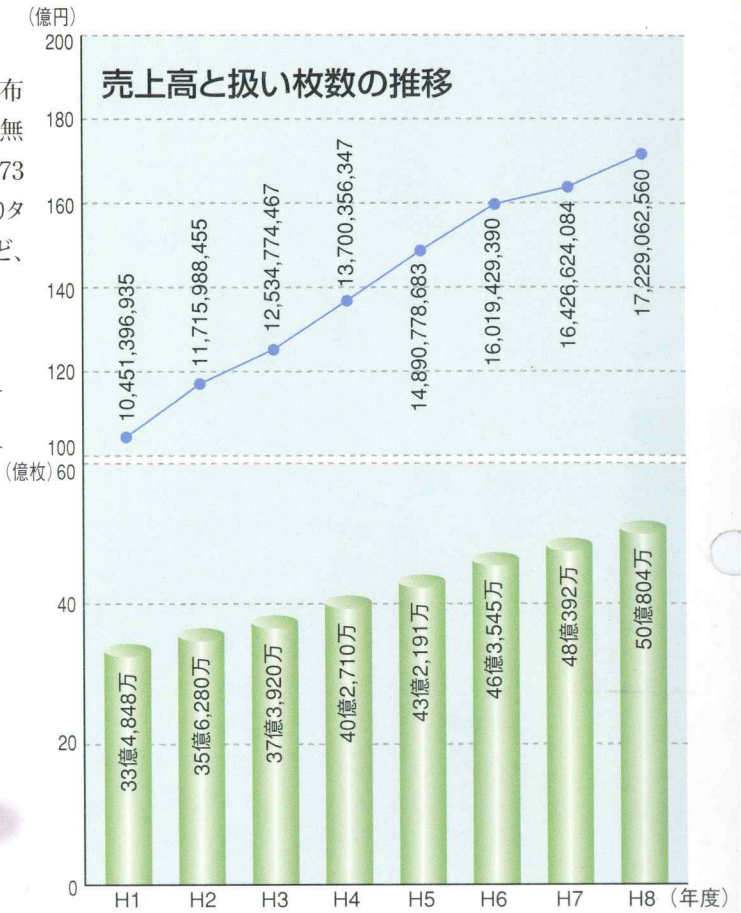
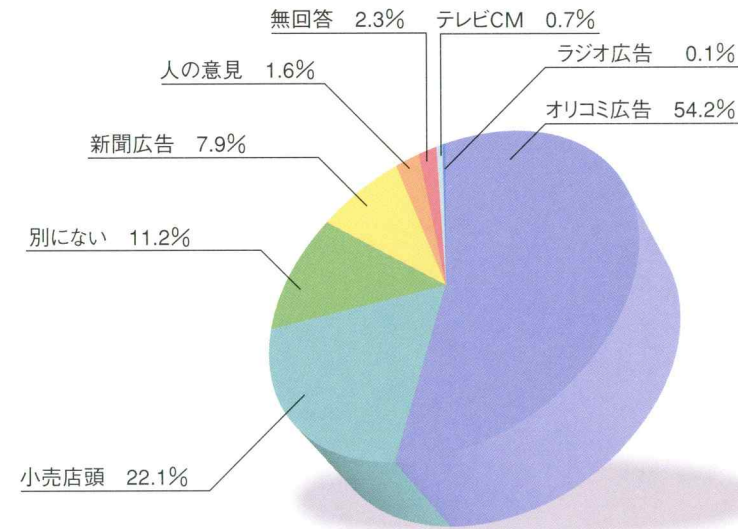
配布計画
配布エリア設定
配布部数設定
配布日設定

オリコミ広告

当社が広島市と周辺4市町を対象に行った平成9年9月実施の商圏調査によると、「全体的によく注意して見る方である」から「関心のあるものだけ見る方である」を含めると新聞オリコミ広告の注目率は85.9%を記録。特に、食料品などではなんと91.0%の人が何らかの行動を起こしています。オリコミ広告全般の評価は「新店舗や地元情報を知るのに便利」「商品、サービス情報が参考になる」「新製品を知るのに役立つ」「バーゲンや折込みが一番の情報」「上手な買い物の手助けになる」などがポイントが高く、毎日の生活情報源となっていることがうかがえます。

ポスティング

パンフレットや試供品など、あらゆるスタイルの販売情報を家庭へ配布する手段として、ポスティングは高く評価されています。その利点は「無駄なく」「確実に」広告展開できることです。当社では、発行部数73万部の中国新聞を支える信頼の販売所ネットを通じて、より早く、よりタイムリーに、より適確な配布を実践。配布するエリアや期日の指定など、クライアントの狙いどおりの広告戦略を効率よくお手伝いいたします。



Ware Network

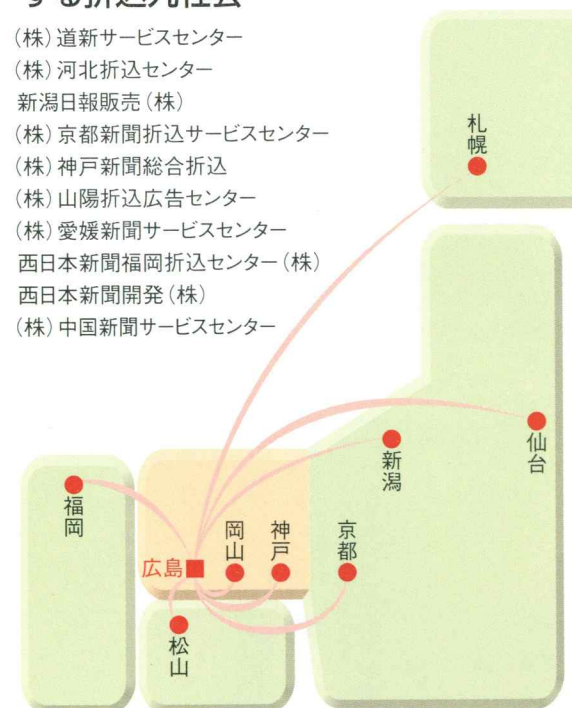
エリア

当社では、本社を拠点に12の営業所(10営業所+2出張所)をバランスよく配置。さらに、全国に広がる協力会社のネットワーク活用により、中国地方はもとより、すべての地方、ブロック、全国各紙のオリコミ広告の取り扱いを可能にしました。ローカルなスポット折込みから広域にわたる戦略折込みまで、目的に応じてきめ細かく展開。クライアントのご要望におこたえしています。



全国をネットワークする折込九社会

- (株)道新サービスセンター
- (株)河北折込センター
- 新潟日報販売(株)
- (株)京都新聞折込サービスセンター
- (株)神戸新聞総合折込
- (株)山陽折込広告センター
- (株)愛媛新聞サービスセンター
- 西日本新聞福岡折込センター(株)
- 西日本新聞開発(株)
- (株)中国新聞サービスセンター



保険・通信機器・リース

思いがけない火災・地震・台風による家屋の焼失・倒壊や、年ごとに増え続ける交通事故などに備える損害保険。万一のときはもちろん、患者だけでなく家族にも大きな負担を与えるガン・痴呆をはじめ、あらゆる医療費負担軽減の手助けにもなる生命保険。当社は、そうした日々の暮らしに安心と保障をお約束する損害・生命保険の代理店業務を早くから手掛け、大きな信頼を得ています。

さらに、通信手段として目覚ましく普及してきたポケットベル(テレメッセージ)や携帯電話(セルラー電話)、PHS(アステル中国)の代理店業務も実施。ビジネスに、プライベートに、幅広く役立っています。

そのほか、多チャンネル時代の花形・CATVの取り扱い業務や、経費面で有効な自動車リース代理店業務など多岐にわたる業務を展開中です。

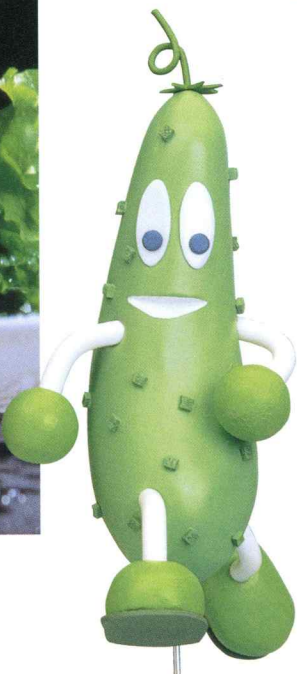
共栄火災
日本火災海上保険株式会社
アイエヌジー生命保険株式会社

AFLAC 生きるために、活かす保険も。
アメリカファミリー生命保険会社

◎日本リースオート

アステル中国
中国セルラー電話株式会社

テレメッセージ
中国アールビジョン





本社

本社
 〒730-0044 広島市中区宝町5-28
 TEL (082) 244-1771
 福山営業所
 〒721-0974 福山市東深津町1丁目11-22
 TEL (0849) 23-0350
 三原営業所
 〒723-0051 三原市宮浦3丁目31-15
 TEL (0848) 63-1306
 尾道営業所
 〒729-0141 尾道市高須町4778-1
 TEL (0848) 46-6231
 因島出張所
 〒722-2323 因島市土生町宇和部1681-3
 TEL (08452) 2-4599
 三次営業所
 〒728-0021 三次市三次町1506
 TEL (0824) 63-9655
 呉営業所
 〒737-0141 呉市広大新開1丁目3-11
 TEL (0823) 75-0133
 東広島営業所
 〒739-0016 東広島市西条岡町5-7
 TEL (0824) 23-9889
 竹原出張所
 〒725-0012 竹原市下野町字小井手3254-5
 TEL (0846) 22-6748
 岩国営業所
 〒740-0018 岩国市麻里布町6丁目4-17
 TEL (0827) 21-6564
 柳井営業所
 〒742-0031 柳井市南町3丁目6-8
 TEL (0820) 23-0990
 徳山営業所
 〒745-0861 徳山市大字徳山8164-2
 TEL (0834) 21-7605
 山口営業所
 〒753-0046 山口市本町2丁目5-16
 TEL (0839) 33-0530



福山営業所



山口営業所

会社概要

概況

会社名 株式会社中国新聞サービスセンター
 所在地 広島市中区宝町5番28号
 創立年月日 昭和37年4月1日
 資本金 5,000万円
 決算 年1回 3月
 年商 183億(平成17年3月)
 従業員数 76名(男性57名、女性19名)

[業績] (単位千円) 売上高

経歴

年	月	内容	期	業績(千円)	売上高(千円)
昭和37年	4月	(有)中国新聞折込広告社として発足	1期(38.3)	20,240	
"	5月	(有)中国新聞サービスセンターと改称	2期(39.3)	33,106	
"	9月	中国新聞福山折込広告組合発足(販売店自主運営)	3期(40.3)	31,523	
"	11月	中国新聞呉サービスセンター発足(販売店自主運営)	4期(41.3)	41,837	
"	39年2月	福山折込広告組合を中国新聞福山サービスセンターと改称	5期(42.3)	46,357	
"	43年2月	中国新聞三原サービスセンター発足(販売店自主運営)	6期(43.3)	77,122	
"	4月	本社を広島市南竹屋町に移転	7期(44.3)	162,525	
"	同月	福山・呉の各サービスセンターが解散し、営業所開設	8期(45.3)	189,250	
"	44年11月	共栄火災海上保険相互会社と代理店契約を結び、損保業務に着手	9期(46.3)	284,862	
"	12月	株式会社中国新聞サービスセンターに組織変更	10期(47.3)	434,392	
"	45年7月	三原サービスセンターが解散し、営業所開設	11期(48.3)	530,914	
"	47年4月	創立10周年	12期(49.3)	702,871	
"	同月	中国新聞岩国サービスセンターを有限会社に組織変更	13期(50.3)	969,201	
"	50年10月	中国新聞備北折込センター(三次)発足(販売店自主運営)	14期(51.3)	1,337,562	
"	53年4月	東広島営業所を開設。備北・岩国各サービスセンターが解散し、営業所開設	15期(52.3)	2,061,591	
"	7月	新社屋完成し、本社を広島市宝町に移転	16期(53.3)	2,402,199	
"	54年2月	竹原出張所を開設(56年3月から営業所)	17期(54.3)	2,893,639	
"	4月	尾道営業所を開設	18期(55.3)	3,532,777	
"	57年4月	創立20周年	19期(56.3)	3,652,905	
"	6月	因島営業所を開設	20期(57.3)	4,284,031	
"	7月	柳井営業所を開設	21期(58.3)	5,118,491	
"	58年3月	売上高50億円達成	22期(59.3)	5,975,305	
"	12月	アリアンファミリー生命保険と代理店契約を結び、生保業務に着手	23期(60.3)	6,370,751	
"	60年11月	徳山営業所を開設し、10営業所・1出張所体制となる	24期(61.3)	7,180,908	
"	61年10月	本社作業場拡張工事完了	25期(62.3)	8,006,549	
"	3月	売上高80億円達成	26期(63.3)	8,193,275	
"	62年4月	創立25周年を迎え、25年史刊行	27期(01.3)	9,215,308	
"	同月	営業部にデリバリーサービス課を新設、ホステイング(宅配)業務に参入	28期(02.3)	10,451,396	
平成2年	3月	売上高100億円達成	29期(03.3)	11,715,988	
"	8月	資本金を2,000万円に増資	30期(04.3)	12,534,774	
"	10月	福山営業所を同市東深津町に新築移転	31期(05.3)	13,700,356	
"	3年12月	三原営業所を同市宮浦町に新築移転	32期(06.3)	14,890,778	
"	4年4月	創立30周年を迎え、30年史刊行	33期(07.3)	16,019,429	
"	5年7月	三次営業所を新築三次支局ビル内に移転	34期(08.3)	16,426,624	
"	9月	尾道営業所を同市高須町に移転	35期(09.3)	17,229,062	
"	10月	竹原営業所を同市下野町に移転	36期(10.3)	16,959,928	
"	12月	呉営業所を同市広大新開町に移転	37期(11.3)	17,219,207	
"	6年3月	売上高150億円達成	38期(12.3)	18,526,675	
"	4月	徳山営業所を同市徳山に移転	39期(13.3)	18,857,131	
"	8年3月	山口営業所を開設	40期(14.3)	18,566,531	
"	9年3月	山口営業所を同市本町に新築移転	41期(15.3)	18,208,510	
"	同月	本社1・2階事務所改修工事完工	42期(16.3)	18,148,189	
"	4月	創立35周年を迎え、35年史を刊行	43期(17.3)	18,383,145	
"	同月	総務部を業務部に、営業部保険課を業務部開発課に組織変更			
"	11月	営業部デリバリーサービス課を廃止し、営業部を営業一課、営業二課の二課制に改組			
"	10年2月	営業本部制を導入			
"	同月	岩国営業所増改築工事完成			
"	11月	分室を平野町に新築。開発部、企画調整課、マーケティング課を新設			
"	12年3月	業務本部、営業企画本部、開発本部の三本部制とする			
"	5月	資本金を5,000万円に増資			
"	8月	地域センターふくやまを福山市東桜町に新築			
"	9月	岩国営業所自動配送システム導入			
"	同月	呉営業所自動配送システム導入			
"	10月	メディアサービス課新設、コミュニケーション立ち上げ			
"	11月	徳山営業所を大字徳山から遠石に新築移転			
"	13年1~2月	創業40年記念行事としてハワイに社員旅行			
"	4月	福山営業所(福山市東深津町から)福山市駅家町に新築移転、自動配送システム導入			
"	14年4月	山口県柳井地区朝日分業務受託			
"	12月	40周年事業「プロゴルファー藤井かすみ選手を囲む会」実施			
"	15年4月	経営管理本部、営業開発本部、営業企画本部、広島・防長営業本部、備後営業本部の五本部制とする			
"	11月	尾道・三原営業所を統合し、尾三営業所を尾道流通暖地に開設する			
"	16年4月	経営管理本部、営業本部、企画開発本部、広島業務本部、備後業務本部、防長業務本部の6本部制とする			
"	10月	企業倫理行動を制定する			

＃17年 3月 デリバリー業務が中国新聞社販売局デリバリーセンターより再移管される。
個人情報保護規定を制定する